

主題：信徒

メッセージ 27

彼らの現在——贖われる

聖書：ローマ 3:23-25. エペソ 1:7, I ペテロ 1:18-19, ルカ 15:22-23. 詩 45:13-14

- I. 神の福音はダイナミックで、際限なく力強く、福音を信じる罪人をすべて救います。それは、彼らを法理的に贖い、有機的に救うことによります——ローマ1:16-17. 5:10. ヨハネ4:14, 16-18. ルカ18:24-27. 19:2, 8-9:
- A. エレミヤは、キリストの法理的な贖いと有機的な救いにおいて、キリストを経験しました。これは、神がわたしたちから欲していること、わたしたちの墮落した状態においてわたしたちが何であるか、神の心の願いのためにキリストがわたしたちにとって何であるかが、彼の永遠のエコノミーにしたがって遂行されることを告げています——2:13, 13:23, 17:9, 23:5-6, 31:33。
 - B. 永遠の過去、贖いの計画において、キリストは小羊となるように定められていました (I ペテロ 1:19-20)。時の中で彼は小羊として死に、贖いを達成されました (ヨハネ 1:29, I ペテロ 1:18-19)。そして、永遠において彼は依然として贖いの記念としての小羊です (マタイ 26:29, 啓 22:1)。
- II. 「贖われる」という言葉は、本来あなたのものであったが失われたものを買い戻すことを意味します。ですから、贖いは代償を払ってあるものを再び所有することです——ローマ3:24-25. テトス2:14. I ペテロ1:18-19:
- A. 多くの要求がわたしたちの上に置かれていました。それは、神の義、聖、栄光の要求です。わたしたちがそれらを成就することは不可能でした——創 3:24。
 - B. 神は代償を払ってわたしたちを贖い、それによって最高の代償を伴う極めて大きな代償を払ってわたしたちを再び所有してくださいました。それは、キリストの尊い血です。キリストが十字架上で死んだ時、彼の血はわたしたちのために永遠の贖いを獲得しました——ヘブル 9:12, 14. I ペテロ 1:18-19。
 - C. わたしたちは代償をもって買われました。この代償は、キリストの血 (啓 5:9)、すなわち、神「ご自身の血」(使徒 20:28) です。わたしたちは、買われてキリストの奴隷となることによって (I コリント 6:19-20, 7:22-23)、贖われ、神の所有、嗣業となりました (エペソ 1:11, 14, 18, 使徒 20:28)。
 - D. わたしたちの法理的な贖いの代償は、神の義なる要求に対して払われました。「法理的な」という言葉は、「法的に認められる」を意味します。神の贖いは法理的です。なぜなら、わたしたち罪人はすべて神の義によって罪定めされており、すべての人は、神の義なる律法にしたがって、神によって死の宣告を受けてるからです——創 3:13. エゼキエル 18:4 後半, 20 前半, ヘブル 9:22. ローマ 3:19-20。
- III. キリストの贖いの働きは、神ご自身が来て神に対する人の罪を負うことです。こういうわけで、支払いを要求した方は、支払った方となりました。違犯を受けた方が、違犯のために苦難を受けた方となりました。裁く方が裁かれました——詩歌234番、1節:
- A. 公正な神・人が不正な罪人のために死なれました。ですから、彼の死は身代わりの死

と呼ばれます。彼はわたしたちのために死なれ、十字架上ですべての人のために身代わりの死を遂行されました——Ⅰペテロ 3:18, ヨハネ 1:29, 3:14, Ⅰコリント 15:3, Ⅱコリント 5:21。

- B. 神はキリストの上に人の罪すべてを置き、すべての罪人を置き換えることにおいて彼を唯一の罪人とみなしました——イザヤ 53:4-6, マタイ 27:46, Ⅱコリント 5:21。
- C. 神の救いにおいて、彼は彼の義、聖、栄光の要求すべてを満たされます。それは彼が彼の義、聖、栄光を伴う命としてご自身をわたしたちの中へと分与し、わたしたちを彼の詩として、彼の多種多様な知恵を永遠に展覧することができるためです——創 3:24, Ⅰコリント 1:30, エペソ 2:10, 3:9-11, 16-21。
- D. わたしたちは律法からではなく、律法ののろいから贖い出されました。律法ののろいから贖い出されることは、律法の結果から贖われることをいみます——ガラテヤ 3:13。
 - 1. キリストは、十字架上でわたしたちの身代わりとして、わたしたちのためにのろいを負っただけでなく、わたしたちのためにのろいとなりました。律法ののろいは、人の罪から生じます。キリストが十字架上でわたしたちの罪を取り除いた時、彼はわたしたちを罪ののろいから贖い出されました——ガラテヤ 3:14, 17, マタイ 27:29, 啓 22:3, Ⅰコリント 16:22, 参照、2:9。
 - 2. 旧契約、律法は、神の証し、神の描写です。これが見せているのは、神がだれであるか、また人を暴露し、人を征服し、神の選ばれた人たちをキリストに導くことです——詩 78:5, 119:88 後半, 創 1:26, ローマ 3:19-20, ガラテヤ 3:23-25, ヨハネ 10:9-10。
 - 3. 律法の旧契約は神の描写ですが、恵みの新契約は神のパーソンとしてのキリストです——1:16-17。
 - 4. わたしたちがキリストの中へと信じるとき、キリストはこの描写のパーソンとしてわたしたちの中へと入って来られます。それから、彼はわたしたちの覆う義としてわたしたちの上に置かれ、わたしたちは彼の中に入れられ、彼と一とされます。そのような結合の中で、キリストであるものは何であれ、彼が持っているものは何であれ、彼が行なってこられ、行なおうとすることは何であれ、彼が獲得し、獲得しようすることは何であれ、わたしたちのものです——ルカ 15:22-23, Ⅰコリント 1:30。
 - 5. キリストは「律法の終わり」です（ローマ 10:4）。彼は律法を成就するために来られました。それは、彼が律法を終結させ、律法を置き換えるためです。こういうわけで、彼の中へと信じて、彼を神の義として受け入れるすべての人、彼を呼び求めるすべての人は、彼を神の豊富として受け入れます（9-13 節）。
- E. わたしたちは神の義の水準にしたがって、義とされ、承認されることによって、贖われました——3:23-25：
 - 1. キリストはわたしたちの客観的な義であって、客観的な義認のためにわたしたちを覆います。キリストはまたわたしたちの主観的な義であって、主観的な義認のためにわたしたちの中で、またわたしたちを通して生きられます——24 節, Ⅰコリント 6:11。
 - 2. わたしたちの客観的な義認、また主観的な義認のための義であるキリストの二つの面は、ルカによる福音書第 15 章 22 節から 23 節における最上の衣と肥えた子牛によ

って、また詩篇第 45 篇 13 節から 14 節における王妃の二つの衣によって予表されています。

- IV. 神はわたしたちを、罪 (啓 1:5 後半)、神の義なる裁き、激怒、罪定め (ローマ 2:5-6, 16. 3:19 後半. ヨハネ 3:18 後半)、火の池における永遠の滅び (啓 21:8, 22:15)、神の敵であるサタンの訴え (12:10-11) から、キリストの血によって法理的に贖いました (ローマ 3:24-25)。**
- V. 神はわたしたちを法理的に贖いました。それは、違反の赦し (エペソ 1:7)、信じる罪人の罪の洗い (啓 1:5 前半. I コリント 6:11)、信じる罪人を神に対する敵意から神へと和解すること (ローマ 5:10 前半)、信じる罪人の神による義認 (3:20-24)、信じる罪人と神の間に平和をつくること (5:1)、信じる罪人を神へと地位上、聖別すること (ヘブル 10:10, 14, 29 後半. 13:12 前半) を通してです。**
- VI. わたしたちは罪が赦されることによって贖われました。贖いは十字架上で達成されたの対し、赦しはわたしたちがキリストを信じた瞬間に適用されます——ヨハネ 1:29. エペソ 1:7. コロサイ 1:14. 使徒 10:43 :**
- A. 罪の赦しは、十字架上でキリストが流された血によって、神の御前でわたしたちの罪の記録を消去することを意味します。それによって、わたしたちは神の義の刑罰から救い出されます——ヨハネ 3:18. ヘブル 9:22. 参照、イザヤ 49:16。
- B. キリストご自身がわたしたちの罪のためのなだめ (propitiation) です (I ヨハネ 2:2)。「なだめ」(propitiation) という言葉は、「両当事者の間を仲裁して、一にすること」を意味します。「なだめること」(to propitiation) は、神の義の要求を満たすことによって、わたしたちと神との状況をなだめ (appease) て、わたしたちを神へと和解させることです。
- C. キリストご自身がなだめの供え物です。彼はまた、わたしたちが神の御前でなだめを享受する場所、神がわたしたちに恵みを与えられる場所でもあります—— 2 節. ローマ 3:24-25. 出 25:21-22。
- D. キリストの血は「多くの人に罪の赦しを得させるために、今、注ぎ出されている……契約の血である」(マタイ 26:28)。契約の血はわたしたちを神の臨在へともたらし、さらに至聖所、わたしたちの霊の中におられる神ご自身にさえもたらしめます。契約の血によって、わたしたちは神ご自身へと導かれ、そこでわたしたちは、神の建造と栄光のために、神を受け、神を享受し、神を食べ、神を飲み、神を注入されて、神からのビジョン、啓示、教示を受けることができます(ヘブル 10:19-20. レビ 16:14-15, 22) :
1. キリストの死において、キリストは、彼の血を流すことを通して新契約を制定されました (ルカ 22:20)。彼の復活において、彼は新契約となられ (イザヤ 42:6. I コリント 15:45 後半. I ヨハネ 5:6)、彼の昇天において、彼は新契約の祝福をもってわたしたちに仕えておられます (ヘブル 7:22, 25. 8:2, 6. 参照、II コリント 3:6)。
2. 神がわたしたちに新契約を与えられるとき、この契約は「救いの杯」(詩 116:13)、「祝福の杯」(I コリント 10:16) と呼ばれる杯 (ルカ 22:20) です。この杯の中には、神の祝福すべてがあり、またわたしたちの分け前としての神ご自身さえもあります (詩 16:5. 23:5. 参照、啓 14:10. ヨハネ 18:11)。
- E. 罪が許されることは、神の新契約において、わたしたちの罪が神によって赦されたことを意味します。神がわたしたちの罪を除かれただけではなく、それは彼の記憶か

ら消え去りさえました——ヘブル 8:12。

- F. 神の御前で、キリストの贖いの血はわたしたちを一度限りで、永遠に清めました(9:12, 14)。その清めの効力は、繰り返される必要はありません。しかしながら、わたしたちの良心においては、神との交わりの中で神聖な光によって良心が照らされる時はいつでも、わたしたちは繰り返し、主の尊い血の絶え間ない清めを即時に適用する必要があります (Iヨハネ 1:7, 9. 詩 51:2, 7)。
 - G. 悔い改めて、告白し、主イエスの血の下に置かれたどのような罪も決して、裁きの座において、少しも取り上げられることはあり得ません——Iヨハネ 1:7, 9. 詩歌237番、235番、684番。
 - H. 神がわたしたちの罪についてわたしたちを赦すとき、彼はわたしたちが犯した罪をわたしたちから離れさせます——詩 103:12. レビ 16:7-10, 15-22。
 - I. 神が罪を許されることの結果は、わたしたちと神との回復された交わりの中で、わたしたちが彼を恐れ、彼を愛するということです——詩 130:4. ルカ 7:47。
- VII.** このような贖いは、キリストの血によって、神のダイナミックな救いの過程としての土台を据えます。それはキリストが、ダイナミックな救いの究極的な完成と目的のために、キリストの命によって、彼の民を有機的に救うためです——ローマ 5:10, 17, 21